

BOAT TIMES

<Vol. 145>

2017 / 10 / 2 発行

編集 長岡 真大

桑野造船株式会社

〒520-0357 大津市山百合の丘10-1 TEL: 077-598-8090 FAX: 077-598-2505

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

●さまざまなロウイング

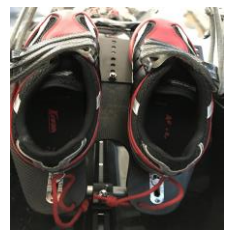
9月に広島一尾道・約1週間の「チャーチポート」による瀬戸内遠漕があり、欧州中心に5か国11名、日本人5名（+支援船2隻）が参加しました（日本側ホスト：ライナーズクラブ）。主催のライナーさん（ドイツ）は、故・古川前社長とも親交があり、2010年・琵琶湖ライナーツアー、2013年・ドナウ川下りには古川さんも参加（⇒「古川おやじのボートブログ」）、桑野も大変お世話になっているご縁で、今回は、チャーチポートの横浜からの往路陸送と、遠漕後半の安全確保に協力させていただきました。広島アウトリガーカヌークラブにも大変お世話になりました。台風による変更もありましたが、バイキングの流れをくむチャーチポートが波に強いことも証明されました。ふだん私たちが扱うのは、静水用に洗練されたレーシング艇ですが、改めて様々なパドルスポーツがあること、コースタルロウイング含めて、多様なスタイルのロウイングの楽しみが広がれば良いなど改めて思いました。ロウイングのトレーニングにしてもモノづくりにしても、一つことに集中して掘り下げていくことと、柔軟・寛容に視野を広く持ち価値観を広げていくことを両立させられることで、本当に強いロウイングが生まれると思っています。安全に、器の大きなロウイングを育ててください。【小澤】

●ヒールロープの長さ（7cm規定から改訂）

シューズのヒールロープのお話です。高校総体や国体などの配艇制度では、現在のストレッチャーボードは、アルミプレートが上下に調整でき、一方でロープを結ぶ孔はストレッチャーボード下端にあるので、事前にヒールロープを調整しても、シューズの上下調整に合わせてヒールロープも調整しなおさなければなりません。またシューズの持参・交換も認められているので、シューズに合ったヒールロープを準備し、適切な長さに調整することで転覆時のリスクを抑えるのは、クルーの責任でもあると思います。なおシマノのSRDのように、クイックリリース式ではヒールロープがなくても良い規則になっています。

ヒールロープの長さについては、FISAの競漕規則では従来、「かかどが7cm以上に上がらないように」の規定があり、日本でもそれが目安でしたが、FISAの規則は2017年2月に改訂、「かかどが水平以上に上がらないように」と変更されました（注：国内大会での競漕規則、ヒールロープの規定や管理について、ここで論じるところではありません。実際の大会では、その主催者が示されるガイドラインやルールを理解され、順守してください。）

いずれにしても、ヒールロープは安全のための重要なパーツであり、転覆時の脱出を容易にするものです。練習・レースを問わず、また自艇・配艇を問わず、常にヒールロープをチェックし適切な長さであることを気にかけてください。



破損した古いストレッチャー板

耐水合板にて製作した代替品

●カヌーストレッチャー製作します。

カヌー部のみならず、合板製ストレッチャー板の破損でお困りではないでしょうか？

経年劣化で破損した場合でも、写真の通り、桑野造船にて耐水合板製の代替品を製作することが可能です。詳しい内容やご依頼についてはお問い合わせください。

●お知らせ

◇毎日新聞に掲載していただきました。

9/4(月)の毎日新聞滋賀県版に弊社を取り上げて頂きました。桑野造船を多くの方に知っていただける、とても良い機会を頂きました。

◇出店情報・メンテナンス

全日本選手権大会：10/26(木)～10/29(日)

パーツ販売、修理メンテナンスを行います。事前にパーツの注文や修理依頼等のご連絡を頂けると、円滑な対応が可能です。特にシューズ等の大きなパーツは、数に限りが御座いますので予めお問い合わせ下さい。